



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和2年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和2年2月10日(月)

事業名	東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み	予算(案)の概要 140・141 ページ
予算額	令和2年度予算額 910,500 千円 (前年度予算額 438,890 千円)	(拡充・継続)
取材先	東京オリンピック・パラリンピック開催等担当部 東京オリンピック・パラリンピック開催等担当課長 浅野 (電話 03-5273-4220)	

東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組み

■ 体験イベント等の実施

1 メモリアルコレクション展

東京2020オリンピック開催期間にあわせて、夏季大会のオリンピックトーチ等のコレクションの展示を行い、区民や来街者に、今大会までのオリンピックの歴史の重みや、平和への想いを高めていただく機会を創出します。

また、採火式の模様や新宿区内での聖火リレーの映像放映を行うほか、東京2020大会の聖火リレーを紹介する報道写真パネルを展示します。

開催日 2020年7月22日(水)～ 8月9日(日)

会場 新宿住友ビル三角広場



東京2020
オリンピック
聖火リレートーチ



平成30年度に実施したトーチ展

2 聖火リレーイベント

ギリシャを出発して日本全国を巡った聖火は、7月24日にオリンピック聖火リレーの最終日として新宿でゴールを迎えます。

聖火リレー最終日の大役を担う新宿区として、万全の態勢で、区民の皆さんの記憶に残る聖火リレー出発式を盛大に開催します。

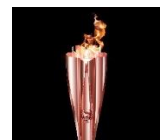
【オリンピック聖火リレー出発式】

開催日 2020年7月24日(金)

会場 新宿住友ビル三角広場



新宿住友ビル三角広場外観



東京2020パラリンピック聖火リレートーチ

パラリンピックの聖火リレーイベントについては、今後、コースなど詳細の決定を受けて検討します。
新宿区の走行予定日は、2020年8月21日(金)です。



みんなの歓声
みんなが輝く



東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催直前

新宿区は、国立競技場が位置する自治体として、東京2020大会開催を盛り上げます。また、東京2020大会終了後のレガシー継承のための取り組みを行います。

3 コミュニティライブサイトイベント

東京2020大会期間中、皆が一緒に観戦や応援を楽しめる

コミュニティライブサイトイベントを開催します。

コミュニティライブサイト会場内では、競技会場からのライブ中継の放映や、中継内容にあわせた競技解説のほかに、競技体験などのコンテンツも楽しむことができます。また、競技中継の前後には演奏や踊りなどのステージイベント開催なども予定しています。

このイベントでは、来場した方が選手を応援したり、実際の競技を体験したり、ステージで演奏などを披露することで、自分なりの方法で東京2020大会に参加し、その感動を生涯の思い出として残していけるようなプログラムを展開します。



コミュニティライブサイト
イベント会場(イメージ)

【東京2020オリンピック競技大会】

開催日 2020年7月22日(水)～ 8月9日(日)

会場 新宿住友ビル三角広場



新宿住友ビル三角広場

【東京2020パラリンピック競技大会】

開催日 2020年8月25日(火)～ 9月6日(日)

会場 工学院大学アトリウム(新宿キャンパス)



工学院大学アトリウム

■ 子どもたちに大会との関わりを創出

1 伊那市との体験交流イベントの実施

友好提携都市である伊那市と新宿区の小学生の子どもたちによる体験交流を行います。令和元年度は伊那市で体験交流を行いました。令和2年度は新宿区にて両区市の子どもたちがボッチャの競技体験を通して交流を行います。さらに伊那市の子どもたちには、大会期間中にパラリンピック競技を観戦してもらうことで、パラリンピック競技への理解を深めます。

2 新宿区オリジナルデザインのクールネックタオル制作

学校観戦プログラムにより競技を観戦する子どもたちの暑さ対策として、新宿観光振興協会の協力を得て野老朝雄氏の「新宿オリジナルデザイン」が装飾されたクールネックタオルを制作します。「新宿オリジナルデザイン」を一斉に身に付けることにより、一体感を創出します。

配付対象：区立の小学校、中学校、特別支援学校、幼稚園、保育園、子ども園など競技観戦チケットを活用した事業の参加者等

■ ボランティア活動の機会の創出

新宿区独自ボランティア「新宿2020サポーター」の取組み

東京2020大会開催を好機と捉え、ボランティアの活動機会を創出することにより、区民のボランティアマインドの醸成を図るとともに、大会後を見据え、区内におけるボランティア活動の発展・定着を目指し創設しました。

2019年5月に登録開始した本制度は、2020年1月31日時点で登録者数330人、ボランティア活動参加人数延べ128人となっています。

これまでの区主催の気運醸成関連イベントでの活動に加えて、2020年は聖火リレーやコミュニティライブサイトイベントなど、東京2020大会期間中に多くのボランティア活動の機会が見込まれており、サポーターの更なるボランティアマインドの醸成や大会終了後の活動定着を見据えて、サポーター間の交流を重視した講座を開催します。

【新宿2020サポーター】

対 象：次のすべてにあてはまる方

- ①区内在住・在勤・在学または区内で活動する団体に所属している
- ②中学生以上
- ③日本語による簡単な会話ができる

新宿2020サポーター 活動事例



ラグビーPVのブース担当



250日前イベントの総合受付

新宿区東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金を活用した事業助成

1 目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、地域の伝統芸能又は歴史的な行事その他の文化を発信する区民等の自主的な活動に対し助成を行い、もって大会を将来にわたって区民の記憶に残るものとするため、東京2020オリンピック・パラリンピック区民参画基金を活用した事業助成を行います。

2 助成金額

43,000千円

(令和元年度、2年度の積立金額は計100,000千円)

3 令和元年度交付実績

56,469,858円 (『新宿パレード2020』外21事業)



助成金を活用した地域イベント

スポーツレガシー2020(にこにこ)基金の活用(スポーツ施設整備基金)

新宿区スポーツ施設整備基金について

スポーツ施設の整備を図ることにより区民のスポーツ参加意欲を促進し、東京2020大会の開催に向けた気運醸成に資するとともに、「誰もが気軽に身近な施設でスポーツを楽しむ」ことを大会後のスポーツレガシーとして引継ぐため、「スポーツレガシー2020(にこにこ)基金」を設置し、スポーツ施設の改修等を実施しています。

基金の活用(西戸山公園野球場及び落合中央公園庭球場改修工事)

<令和2年度基金充当事業>

★西戸山公園野球場★

人工芝張替、照明LED化及び管理棟改修工事



★落合中央公園庭球場★

人工芝張替、照明LED化及びフェンス改修工事



経年劣化による不陸等が目立っている人工芝の張替を行い、年間を通して快適なスポーツ環境の整備を図ります。加えて、照明LED化工事、管理棟(西戸山公園野球場)及びフェンス(落合中央公園庭球場)の改修工事を実施し、スポーツ施設としての機能強化を図ります。